

ドラマを彩るショーナンバー

〈ようこそ新宿〉

及川眠子作詞、宮川彬良作曲のオリジナル曲。スター高輪芳子をセンターにした、華やかで大人っぽいナンバー。この時代ならではのタップシーンも。

〈恋のかけひき〉

水兵（山口正太郎）と娼婦（高輪芳子）の掛け合いがいかにミュージカル！ コメディ要素が加味されて、気分は「オン・ザ・タウン」。

〈あなたのトリコ〉

色っぽさよりかわいらしさ。若者チームがメインとなり、アイドルグループの原点が見える。原曲は〈Yes Sir, That's My Baby〉、及川眠子によるオリジナル詞。

〈風車の歌〉

ムーラン・ルージュ新宿座で実際に歌われていた、いわばムーラン・ルージュを代表する曲。待子が不動のセンターになり、明るく元気に歌う。

〈恋はやさし野辺の花よ〉

田谷力三の愛唱歌として知られ、今もカヴァーされる名曲。須貝富安への初恋で胸がいつかの待子が、思いを込めて独唱する。冒頭の〈ようこそ新宿〉のフルバージョンを飾るビッグナンバー。キャストファイナレを飾るビッグナンバー。キャストが全員そろい、華々しく終わるのは王道ミュージカルのような。バンドの生演奏も入り、祝祭感たっぷり。

役で宮川彬良が出演した。

このシーンでは特別にピアノリスト
まま現れている。

❑ 日本独自のミュージカルドラマに「鎌倉殿の13人ミュージカル版なんぞいかが？ 三谷幸喜さん、ご考ください！」（三）

池田がドラマチームに加わり、美術や技術など各セクションで部署を越えてショーパートの制作が進んだ。ショーシーンをきちんと作るには、PA（音響）を忘るわけにはいかない。イヤーマニター、マイク、音の返しなどをどうするか。そこでドラマの音声部だけでなく、音楽番組の音響チームが加わるようになった。



佐々木千里
(権名裕平)



小柳ナナ子
(田村芽実)

り、熱心に稽古に参加してカンパニーを引った。踊りや歌が本職のメンバーに囲まれた、ハイレベルでスピーディーな稽古に主演の古川琴音も食らいついていった。

局内に横のつながりが生まれた

生バンド演奏と共に

ファイナレは

撮影と照明もドラマ班と音楽番組班がお互いの知見を交わしながら協働することに。美術も歌番組から吊り物を借りてきたりと、今までにない横のつながりが生まれ、現場は熱を帯びていった。

ミュージカルドラマへの

第一歩

渡辺はセクションを越えてスタッフやキャストを集めることを提案した際「ミュージカルの舞台は芝居、音楽、ダンスなど表現と才能が交わる交差点。そのようなドラマにししたい」と書いたという。

「日本のミュージカルシーンはキャスト、クリエイター共に個性的で魅力的な人材が豊富なので、力を合わせればものすごいものが作れると、今回実感しました。NHK内にも多彩なスキルを持つスタッフがいることも改めて分かりましたし、もちろん予算も時間も普通のドラマを作るよりもはるかに必要です。しかし慣れなければリム化もできません。今回の挑戦はミュージカルドラマへ向けての、具体的な一歩になった気がします」と渡辺。憧れのミュージカルドラマ、ぜひ実現できまますように！